

令和2年11月

# 魚津市定例記者会見



日時：令和2年10月30日(金) 午後1時30分～午後2時00分

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞社、朝日新聞社、NHK、KNB、BBT、NICE-TV、ラジオミュー

市当局出席者：市長、企画政策課長

## 1. 市長からの発表事項

### (1) 令和3年度魚津市行政経営方針について

- ・新型コロナウイルス感染症は、経済や社会生活の変化にスピードを促しており、行政も「ポストコロナ時代」を見据えた取り組みを加速していかなければならない。昨年度策定した計画により財政健全化を進めており、事務事業の見直しや歳入確保、適正な定員管理などに努めている。令和3年度は、市税等の減収や社会保障関係費の増嵩などによる財源不足が生じることが予想されるため、引き続き行財政改革に努める必要がある。

これまで、第1期魚津市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、人口減少対策に取り組んできたが、令和2年10月1日現在の本市の人口は41,032人と人口ビジョンの目標人口(41,724人)を下回る結果となり、令和2年に社会動態をプラスマイナスゼロにするという目標の達成には至らなかった。

現在、令和3年度から第5次魚津市総合計画を策定中だが、多くの審議会委員からは人口減少対策に全力で取り組んでほしいとの意見があった。若者に魅力のある雇用を創出し、住んでみたい地域環境を整備し、若者や女性を呼び込んでいきたい。特色ある教育や子育て支援を充実させ、市民協働のコミュニティーづくりを応援し、持続可能で魅力あふれるまちづくりを進めていきたい。

(説明内容は別添プレスリリースのとおり)

### (2) 魚津市観光ポスターを6年ぶりに制作しました

- ・観光ポスターを6年ぶりに制作したので披露する。2組(4種類)、各500部ずつ、合計2,000枚を作成した。1組目は「魚津の食の魅力」を発信でき、他自治体とできる限り差別化が図られるもの。「ぎょっ!」とインパクトが強いコピーを使った。

もう1組は、魚津の自然、歴史、文化など地域観光資源等を幅広く捉えたもの。「海と山しかないです。」という一見ネガティブ的な表現のキャッチコピーから、「だから美味しい／美しい」と結び、魚津の印象を訴える。

- ・市内宿泊施設、物販施設など観光関係施設等で掲示していきたい。
- ・ポスターには、市民の方々や私（市長）が撮った写真も活用されている。

(3) みらパーク複合遊具「ミラたんと蜃気楼の塔」が完成しました

- ・8月下旬からみらパーク（魚津総合公園）冒険広場で更新工事を行っていた大型複合遊具「ミラたんと蜃気楼の塔」が完成した。今回設置した複合遊具は5つのメーカーから9つの案を提示してもらった。子育て世代の視点を反映するため、「NAPs」、「cocomama」、魚津市子ども・子育て会議の公募女性委員、市役所の女性職員グループの協力を得て選定した。お披露目会は、経田保育園の園児を招いて開催する。なお、今後は子ども用のトイレも整備予定。

(4) つくるUOZUプロジェクト「UOZUキッズプログラミング体験教室」を開催します

- ・11月28日に市内小学生5～6年生を対象としたプログラミング体験教室「UOZUキッズプログラミング体験教室」を開催する。ゲームを制作できるプログラミングソフト「Scratch」（スクラッチ）を利用し、ゲームの完成を目指しながらプログラミングを体験する。当日の指導は、魚津と東京をWeb会議システムで繋ぎ、つくるUOZUプロジェクトにて講演実績のあるゲーム制作会社「株式会社トイディア（東京都）」が遠隔で実施する。また、魚津市と連携協定を締結している富山情報ビジネス専門学校のゲームクリエイター専攻コースの学生がボランティアとして参加し、当日の技術的なサポート行う。

## 2. 質疑応答の内容

### 「令和3年度魚津市行政経営方針」について

#### 《記者からの質問》

減収の見通しは把握できているか。また、負担金補助金の削減が3%とあるが、前年の魚津市行政経営方針ではどう記載されていたか。

#### 《回答》（市長）

市税の減収はおそらく1.5～2.0億円になると思われるが、まだ正確にはわからない。前年の魚津市行政経営方針では、プラスマイナス0%だった。

## 「富山県知事選挙の結果」について

### 《記者からの質問》

新しい知事との関係をどのように構築していきたいか。魚津市独自の期待していることや懸念事項があるか。また、保守分裂選挙後の懸念はあるか。

### 《回答》（市長）

今後の関係構築については、コミュニケーションをしっかりとって、魚津市の課題を伝えて市と県が協力し合って施策を実現していきたい。魚津市ならではの課題については、どの市町村も同じだと思うが、人口減が根底にある。若者が働ける雇用の場を作って、子ども達のがびのびと生き生きと活動できる地域を作っていくために応援して欲しい。選挙については、感情的なものはあるのかもしれないが、滞りなく対応していかなければならない課題が多く、待たない状況なので、円滑にコミュニケーションを取って進めていきたい。

## 「観光ポスター」について

### 《記者からの質問》

どのような効果を期待しているか。刺激的なコピーは市で考えたのか。

### 《回答》（市長）

魚津の産品を知ってもらうことで「ふるさと納税」の増加にもつなげたい。ポスター案はコンペで決定したので、コピーは制作会社が考えたもの。